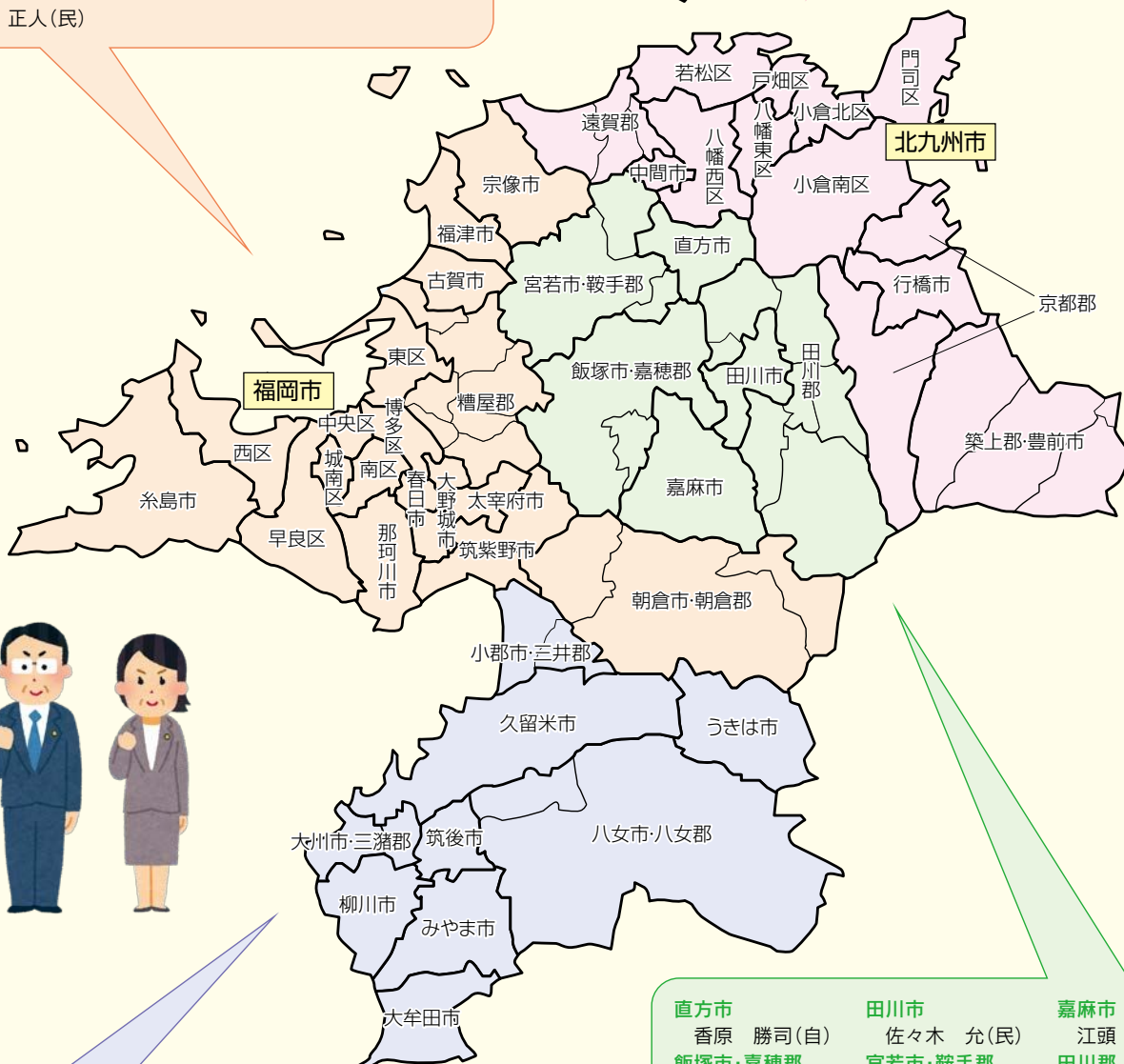


現在の福岡県議会議員です

- | | | |
|--|---|---|
| 福岡市東区
今林 久(自)
長 裕海(自)
佐々木 徹(民)
大塚 勝利(公)
立川 由美(共) | 福岡市早良区
古川 忠(真)
新開 昌彦(公)
後藤 香織(民)
福岡市西区
野原 隆士(自)
仁戸田元氣(民)
田中 大士(緑)
福岡市博多区
高橋 雅成(公)
井上 博行(自) | 太宰府市
渡辺 美穂(民)
古賀市
吉田健一朗(自)
福岡市
吉田 浩一(自)
朝倉市・朝倉郡
中嶋 玲子(民)
糸島市
川崎 俊丸(民)
浦 伊三夫(自) |
| 福岡市中央区
原中 誠志(民)
岳 康宏(拓)
笠 和彦(自) | 春日市
中牟田伸二(自)
松尾 嘉三(自) | 那珂川市
渡辺 勝将(自) |
| 福岡市南区
加地 邦雄(自)
浜崎 達也(公)
樋口 明(自) | 大野城市
井上 順吾(自)
井上 博隆(民) | 糟屋郡
吉松 源昭(自)
西尾 耕治(公)
富永 芳行(民) |
| 福岡市城南区
武藤 英治(自進)
守谷 正人(民) | 宗像市
吉武 邦彦(緑)
井上 正文(自) | |

- | | | |
|---|--|------------------------------------|
| 北九州市小倉北区
中村 明彦(自)
原田 博史(民)
壹岐 和郎(公) | 北九州市門司区
森下 博司(公)
川端 耕一(自) | 行橋市
堀 大助(緑) |
| 北九州市小倉南区
二宮 眞盛(公)
高瀬菜穂子(共)
吉村 悠(自) | 北九州市八幡東区
津田 公治(自) | 中間市
片岡 誠二(自) |
| 北九州市若松区
中尾 正幸(自)
山本 耕一(民) | 北九州市八幡西区
縣 善彦(自)
松尾 統章(自)
岩元 一儀(民)
松下 正治(公) | 遠賀郡
松本 國寛(自)
安部 弘彦(緑) |
| | 北九州市戸畑区
富田 徳二(民) | 京都郡
畑中 茂広(民) |
| | | 築上郡・豊前市
西元 健(自) |



- | | | |
|---|---|----------------------------|
| 久留米市
原口 剣生(自)
江口 善明(緑)
新井富美子(民)
中村 香月(民) | 柳川市
梶島 徳博(緑)
八女市・八女郡
桐明 和久(自)
栗原 悠次(緑) | 大川市・三潁郡
秋田 章二(自) |
| 大牟田市
大橋 克己(民)
永川 俊彦(緑) | 筑後市
藏内 勇夫(自) | 小郡市・三井郡
井上 忠敏(緑) |
| | みやま市
小河 誠嗣(緑) | うきは市
小川 誠嗣(緑) |
| | | 板橋 聡(自) |

- | | | |
|--|----------------------------|-----------------------------------|
| 直方市
香原 勝司(自) | 田川市
佐々木 允(民) | 嘉麻市
江頭 祥一(自) |
| 飯塚市・嘉穂郡
江藤 秀之(自)
高橋 義彦(自) | 宮若市・鞍手郡
花田 尚彦(自) | 田川郡
大島 道人(自)
神崎 聡(緑) |

(自)……自由民主党福岡県議団 (民)……民主進歩クラブ県議団
 (緑)……緑友会福岡県議団 (公)……公明党福岡県議団
 (共)……日本共産党福岡県議会議員団 (自進)……自民党進志会
 (真)……真政会 (拓)……拓志会
 (令和5年2月末時点)

※4面及び5面に詳細を掲載しています。ご参照下さい。



福岡県議会ホームページ
<https://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>

 携帯電話向けサイト
<https://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/m>

福岡県はワンヘルスの世界的先進地となることを目指しています
 福岡県ワンヘルス推進ポータルサイト
<https://onehealth.pref.fukuoka.lg.jp/>

県民の足を確保「地域公共交通事業振興議員連盟」を設立

地域間の絆を守りぬきます!!



左から井上博隆副議長、森下博司議員、岩元一儀議員、原口剣生議員、**藏内勇夫議員(会長)**、服部誠太郎知事、松本國寛議員、井上忠敏議員、桐明和久議長、松尾統章議員

今、交通事業者の厳しい経営環境を背景として、JR九州鹿児島本線で減便等を伴うダイヤの大幅な改編や窓口廃止、駅の無人化等のサービス削減が行われる等、県民の日常生活と地域間の連携を支える大切な移動手段である地域の公共交通が深刻な危機に直面しています。

そこで、当議会では、3月3日、本会議場において、超党派でこの課題に取り組む福岡県地域公共交通事業振興議員連盟(会長：藏内勇夫議員)を設立し、直ちに役員一同で、服部誠太郎知事に、交通事業者への働きかけや住民の移動手段・利便性の確保等に取り組む市町村への支援などを求める「地域公共交通の維持・再構築等に関する要請書」を提出しました。

福岡県議会は服部知事と一体となってこの問題に取り組んでまいります。

2月定例会 代表質問から

※ここに掲げている質問は、代表質問の一部を抜粋したもので、2月定例会時点での内容です。



自民党県議団
吉村 悠
(北九州市小倉南区)

Q 令和5年度当初予算で、自民党県議団と自民党連合合同による要望で実現した出産・子育て安心基金の設置を判断した思いについて伺う。

A 少子化が急速に進み本県出生数は平成28年以降、6年連続で減少している。地域や企業、社会全体で県民の皆さんの出産・子育てを積極的に応援する世の中にしていきたい。

自民党県議団と自民党県連合同の要望もあり、当初予算で育児保育利用料の無償化と不妊治療の助成を始めることとした。少子化対策の効果が表れるには時間がかかるので継続的に実施するための財源確保が重要だと考え、121億円の「出産・子育て安心基金」を新設することとした。県民のニーズに即し、きめ細かな県独自の

出産・子育て施策を機動的に実施する財源として活用したい。

Q 「価格転嫁の円滑化に関する連携協定」を締結し、中小企業の価格転嫁の円滑化を促進するべきだと考えるが、知事の見解を伺う。

A 県では、企業が取引先との共存共栄等を宣言する国の「パートナーシップ構築宣言」の周知を行って

いる。だが、多くの業種で価格転嫁が進んでいないとの調査や報告がある。このため、「価格転嫁の円滑化に関する連携協定」を県が呼びかけて国の関係機関や経済団体、労働団体など13団体で早急に締結し、価格転嫁しやすい環境づくりを進める。今後、国に一層の施策の充実を働きかけていくとともに、県独自の「チャレンジ応援補助金」や「生産性向上補助金」などで宣言企業への加圧措置を行うこととしていく。

Q JR九州が昨年9月に実施したダイヤ改正を県はどう認識しているか。

A 私が会長の市町村や商工団体等で組織する「福岡県地域交通体系整備促進協議会」で意見をとりまとめた。構成員からは①通勤通学時間帯の減便で1便当たりの乗車人数が増加した②最終便の繰り上げ、快速列車の運行区間の短縮等により利便性が悪化した③地域産業や住民の生活に影響を及ぼしかねない④住民の公共交通離れが懸念されるとの意見があった。協議会ではJR九州に対し①コロナ終息後の便数の回復②利用者の声を踏まえた混雑・遅延対策の実施を強く要望したところ「利用状況を注視しながら対応する」と回答があった。今後、協議会として、沿線自治体や地元県議会議員の意見を伺いながらJR九州に対して必要な働きかけを行いたい。

月から開始した。現在、本県と人の往來の多い東京都と大阪府に連携を働きかけている。九州内の複数の県でも検討が行われていると聞いているので、今後制度が導入された県に対し働きかけ、連携拡大に取り組む。同制度では、45組(2月27日現在)が宣誓し、多くの喜びの声をもらった。性的少数者の意見や要望を聞きながら制度の充実を図り、安心して笑顔で暮らせる福岡県を目指す。



民主党政議団
岩元 一儀
(北九州市八幡西区)

Q 地方公務員の定年引き上げで、教員の退職者数が大幅に変動することが予想される。教員採用の方針を教育長に伺う。

A 採用予定者数については、退職者や再任用者の人数、児童生徒数の変動に伴う定数の増減などを考慮して決定している。定年引き上げにより、採用減が見込まれる年度でも前年度に採用できなかつた人数を上乗せすることを含め、安定的に募集枠を確保し、可能な限り新規採用したい。

Q ジェンダー平等の福岡県づくりに向けた県内市町村や他県との連携について伺う。

A 昨年8月の市町村説明会で、パートナーシップ宣言制度での利用可能な行政サービス提供を働きかけた。私自らも昨年4月、市町村長に働きかけた。現在は34市町村で、公立病院での病状説明や公営住宅の入居申込などの行政サービスを提供していただいている。今後は、提供していない市町村に個別に働きかけ、来年度中に全市町村での提供を目指す。また、制度利用者の負担軽減や利便性の向上のため、佐賀県との連携を1

月から開始した。現在、本県と人の往來の多い東京都と大阪府に連携を働きかけている。九州内の複数の県でも検討が行われていると聞いているので、今後制度が導入された県に対し働きかけ、連携拡大に取り組む。同制度では、45組(2月27日現在)が宣誓し、多くの喜びの声をもらった。性的少数者の意見や要望を聞きながら制度の充実を図り、安心して笑顔で暮らせる福岡県を目指す。

Q 少花粉スギへの植え替えと花粉発生源対策に

A スギは花粉発生源の一つであり、少花粉スギへの植え替えは重要である。平成28年度から主伐後の再造林を少花粉スギで行う際、県独自の上乘せ補助を実施している。こうした取り組みで令和3年度の苗木生産量は前年度の1.2倍、植栽面積は1.9倍増加し、植栽されたスギ全体の5割を占めている。また、花粉は県境を越えて飛散することから、隣県と連携した対策が重要である。国や九州各県と連携して少花粉スギの需給情報を共有し、不足する県に苗木の融通を行っている。こうした取り組みに加え、植栽や間伐作業の省力化を図るため、従来よりも少ない苗木で植栽する技術の共同研究をしている。引き続き国や九州各県と連携し、花粉の少ない森林への転換を進める。

Q 本県耕地面積の8割を占め、食料安全保障で重要な役割を果たす水田農業の振興と小規模な農業水利施設の長寿命化対策について伺う。

A 食料の安定供給を図るためには、「元気づくし」等の米に、麦と大豆を組み合わせた水田のフル活用が重要である。農地の規模拡大に加え、スマート農業機械の導入や土壌診断に基づく施肥技術の導入を支援し、生産性と品質の向上を図る。麦は製粉業者のニーズが高い小麦の生産を拡大し、取引価格の高い「ライ麦」は適切な栽培管理の指導による品質向上を図っている。大豆は収量が現行品種より1割程度多い本県育成の新品種「ふくよかまる」への全面切り替えを進める。また、県営事業で整備した水路などの小規模農業水利施設の長寿命化対策は、使用開始から10年以上経過した施設を対象に、順次、点検・診断し機能保全計画を策定しているところである。この計画を策定した施設については、水路のひび割れ補修等の必要な対策を実施している。

Q コロナ禍にある現在の

文化芸術活動に力を入れるべきだと思いが、知事の考えを伺う。子どもが文化芸術に触れる機会をどう提供していくのか。

A 閉塞感が漂う困難な時こそ文化芸術は人々を元気にし、明日への希望を与えてくれるかけがえのないものであると実感している。来年度は、小中学生が芸術作品や文化財等を鑑賞し、学ぶ契機となるよう県立・市町村立の美術館・博物館等の常設展を無料化する。そのための予算を今議会でお願している。



緑友会
梶島 徳博
(柳川市)

Q こども家庭庁が設置される中、地域子育て支援拠点施設の役割を問う。子ども子育て支援を県はどう展開するのか。

A 児童福祉法改正で、各市町村は「こども家庭センター」を設置し、子どもや各家庭の個別の状況に応じたサポートプランを作成することとされている。そのために同センターは、子どもや家庭の状況についての相談を通じて直接把握することができると密接に連携していくことが必要である。県は、全市町村に同センターが設置されるよう体制の整備と運営に助言と支援を行っている。この中で、同センターと子どもや親が継続的につながる身近な相談機関として、地域子育て支援拠点施設等が活用される

Q 県内GDP20兆円への挑戦し「世界から選ばれた福岡県」を実現するための取り組みについて、目標を示してほしい。

A 県の各施策については、令和4年度から5年間を計画期間とする県総合計画において、最終年度である令和8年度の数値目標を設定している。議案説明要旨で述べた県内GDP20兆円の達成に向けた主な取り組みの目標を示すと、半導体や自動車、水素等新たな成長分野における中核人材を1万3000人育成するとともに、新規参画企業を500社とする。また、ベンチャー支援では1億円以上の資金調達を行ったベンチャー企業を80社創出する。さらに戦略的な企業誘致では、県及び市町村により100ヘクタール以上の産業用地整備に着手するとともに、企業立地件数を300件とする目標を掲げている。これらの目標は毎年度、進捗状況を把握するとともに、課題などを分析し、総合計画審議会や県議会での意見を踏まえて施策の見直しや充実強化を図ることにより目標達成に向けて取り組んでいく。

Q パートナーシップ構

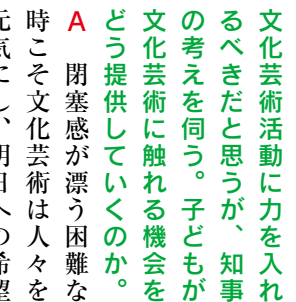
築宣言に対する知事の考えについて伺う。また、本県のパートナーシップ構築宣言登録の現状はどうなっているのか。

A 国が進めるパートナーシップ構築宣言は、企業の代表者が取引先と共存共栄で取り組み、不合理な原価低減要請を行わないこと等を宣言するもの。円滑な価格転嫁を促進する有効な施策であると考えている。本県では2月24日時点で662社が宣言登録を行っている。

Q 労働者協同組合の特

徴を今後も多くの人に知ってもらおう手立てが必要であると考えます。先進県と言われる本県の取り組みの成果と来年度以降はどのように取り組むのかをお尋ねします。

A 今年度から独自の取り組みとして、労働者協同組合の設立を検討する方向のワークショップを開催している。ワークショップでは、活動を継続していくためのノウハウ等を学んでもらい、設立に向けたスケジュール管理や定款などの書類作成、効果的な組合員の意見聴取方法、受託事業のみならず依存している収入源の多角化などについてアドバイスしている。来年度も引き続きワークショップによる個別支援を行うことで、設立準備を進めていく。現在、設立準備を行っている団体には、設立経緯者を招いて具体的な助言や意見交換を行うことで労働者協同組合の設立を促していく。



公明党
森下 博司
(北九州市門司区)

文化芸術活動に力を入れるべきだと思いが、知事の考えを伺う。子どもが文化芸術に触れる機会をどう提供していくのか。

A 閉塞感が漂う困難な時こそ文化芸術は人々を元気にし、明日への希望を与えてくれるかけがえのないものであると実感している。来年度は、小中学生が芸術作品や文化財等を鑑賞し、学ぶ契機となるよう県立・市町村立の美術館・博物館等の常設展を無料化する。そのための予算を今議会でお願している。

Q こども家庭庁が設置される中、地域子育て支援拠点施設の役割を問う。子ども子育て支援を県はどう展開するのか。

A 児童福祉法改正で、各市町村は「こども家庭センター」を設置し、子どもや各家庭の個別の状況に応じたサポートプランを作成することとされている。そのために同センターは、子どもや家庭の状況についての相談を通じて直接把握することができると密接に連携していくことが必要である。県は、全市町村に同センターが設置されるよう体制の整備と運営に助言と支援を行っている。この中で、同センターと子どもや親が継続的につながる身近な相談機関として、地域子育て支援拠点施設等が活用される

Q 県内GDP20兆円への挑戦し「世界から選ばれた福岡県」を実現するための取り組みについて、目標を示してほしい。

A 県の各施策については、令和4年度から5年間を計画期間とする県総合計画において、最終年度である令和8年度の数値目標を設定している。議案説明要旨で述べた県内GDP20兆円の達成に向けた主な取り組みの目標を示すと、半導体や自動車、水素等新たな成長分野における中核人材を1万3000人育成するとともに、新規参画企業を500社とする。また、ベンチャー支援では1億円以上の資金調達を行ったベンチャー企業を80社創出する。さらに戦略的な企業誘致では、県及び市町村により100ヘクタール以上の産業用地整備に着手するとともに、企業立地件数を300件とする目標を掲げている。これらの目標は毎年度、進捗状況を把握するとともに、課題などを分析し、総合計画審議会や県議会での意見を踏まえて施策の見直しや充実強化を図ることにより目標達成に向けて取り組んでいく。

Q パートナーシップ構

築宣言に対する知事の考えについて伺う。また、本県のパートナーシップ構築宣言登録の現状はどうなっているのか。

A 国が進めるパートナーシップ構築宣言は、企業の代表者が取引先と共存共栄で取り組み、不合理な原価低減要請を行わないこと等を宣言するもの。円滑な価格転嫁を促進する有効な施策であると考えている。本県では2月24日時点で662社が宣言登録を行っている。

Q 労働者協同組合の特

徴を今後も多くの人に知ってもらおう手立てが必要であると考えます。先進県と言われる本県の取り組みの成果と来年度以降はどのように取り組むのかをお尋ねします。

A 今年度から独自の取り組みとして、労働者協同組合の設立を検討する方向のワークショップを開催している。ワークショップでは、活動を継続していくためのノウハウ等を学んでもらい、設立に向けたスケジュール管理や定款などの書類作成、効果的な組合員の意見聴取方法、受託事業のみならず依存している収入源の多角化などについてアドバイスしている。来年度も引き続きワークショップによる個別支援を行うことで、設立準備を進めていく。現在、設立準備を行っている団体には、設立経緯者を招いて具体的な助言や意見交換を行うことで労働者協同組合の設立を促していく。

一般質問について

質問者および質問項目

自民党県議団

- 縣 善彦…県内GDP20兆円への挑戦について
- 野原 隆士…海洋環境に影響を及ぼすプラスチックごみ等の対策について
- 川端 耕一…新型コロナ5類移行等医療・介護現場の様々な課題について
- 井上 博行…事業承継について
- 片岡 誠二…建設分野におけるドローンの活用について
- 井上 正文…離島における移住・定住の促進と商店街の活性化について
- 吉田健一朗…医療的ケア児支援の取組について
- 笠 和彦…出会い・結婚の応援におけるAIの活用について
- 樋口 明…外国人の適正な労働環境の整備について

民主県政県議団

- 佐々木 允…重度障がい者の在宅生活支援について
- 山本 耕一…気候変動への適応について
- 後藤 香織…投票率向上のための取組について
保育サービスの充実について
- 渡辺 美穂…透析患者への合理的配慮について
- 中嶋 玲子…保育所の現状と保育士不足について

緑友会

- 安部 弘彦…地球温暖化対策と自動車の電動化について
- 田中 大士…「福岡県グローバル青年の翼」事業について
- 江口 善明…本県の交通政策について
新規就農者の確保について
- 栗原 悠次…本県における不登校児童生徒のサポートについて

公明党

- 松下 正治…在宅就労支援について
- 浜崎 達也…福岡県における水資源対策とダムの洪水調節機能の強化について
- 壹岐 和郎…奨学金返還支援について
デフリンピック支援と共生社会の推進について
- 高橋 雅成…児童虐待とマルトリートメントの防止策について

日本共産党

- 高瀬菜穂子…新型コロナウイルス感染症対策について
下関北九州道路について
- 立川 由美…困難女性支援法について
有明海再生について

真政会

- 古川 忠…知事の政治姿勢について
・1,000億円の人づくり

拓志会

- 岳 康宏…本県における「人手不足」の現状について
「院内学級」について

予算特別委員会について

2月定例会において予算特別委員会が設置されました

○自民党県議団

秋田 章二(委員長)、縣 善彦、江藤 秀之、大島 道人
津田 公治、中牟田伸二、板橋 聡、松尾 嘉三
西元 健、渡辺 勝将、江頭 祥一、吉田 浩一
高橋 義彦、花田 尚彦

○民主県政県議団

富田 徳二(副委員長)、原竹 岩海、川崎 俊丸、原中 誠志
大橋 克己、佐々木 允、中嶋 玲子、富永 芳行

○緑友会

吉武 邦彦、神崎 聡、堀 大助、永川 俊彦

○公明党

森下 博司、二宮 眞盛、浜崎 達也、高橋 雅成

○日本共産党

高瀬菜穂子

代表質問を終えて

自民党県議団

冒頭、昨今の国際情勢を踏まえた上で、今後福岡県としての県民の安全・安心を確保していくのかについて服部誠太郎知事に問い、国・市町村・防災関係機関との連携のさらなる強化を行うこと、県の災害対策本部の代替施設の整備、緊急時における国・地方の権限の見直しの要望を「国と地方の協議の場」で取り上げられるよう全国知事会を通じて働きかけていくとの答弁を得ました。

また、服部カラーを示すものである十六カ月予算についても質したところ、三本柱である「一十億円の人づくり」「県内GDP二十兆円への挑戦」「安全・安心で活力ある社会づくり」にかけた思いについて、それぞれ「未来を担う人材を育てるための人への投資」「成長・発展の歩みを前進させるための県の経済を牽引する産業の育成」「ワンヘルスの推進をはじめとした県民の命と健康・生活を守るための活動」をしていく旨の答弁がありました。

さらに、手話言語条例の制定目的と制定に伴う施策については、ろう児にとって手話は健全な成長に不可欠であり、手話獲得のために乳幼児を対象とした親子手話教室から特別支援学校幼稚部につながる切れ目のない支援体制を構築する等の答えがありました。

ワンヘルス推進については、県として初となる海外大学との覚書締結を実現させ、ハワイ大学とのワンヘルスに関する共同研究や人材育成のための円滑な交流を目指すとのことでした。

その他、コロナに関連して今後の子どもたちのマスク着用や2類相当から5類に見直される際の国への働きかけ等について、福岡県のスタートアップ創出元年、盛土規制、新県立美術館整備について等、知事より前向きな答弁をいただきました。

民主県政県議団

「一十億円の人づくり」を中心に、来年度予算の基盤が服部誠太郎知事から示されました。

財政調整基金等三基金、財政改革プラン、職員配置、県単独公共事業費の見直しに関しては前向きな発言を得られず、引き続き県を質してまいります。

また、知事からは、パートナーシップ宣誓制度のサービス拡大と市町村・他県との連携に取り組むこと、生活に困窮している方の声を踏まえた困難女性支援基本計画を策定すること、留学生の県内での就職促進に向けて経済団体、業種別団体と就職先を開拓すること、そして5類に見直される新型コロナに対しては医療機関、高齢者施設での課題を取りまとめ国に要望したとの発言を得ました。

さらに、中小企業の賃金引き上げのために、物価上昇分の価格転嫁が可能となるよう取り組むことや生活困窮者への支援が届くアウトリーチの充実、市町村の重層的支援体制、包括的支援体制の整備を支援するとされました。

花粉症対策としては、少花粉スギへの植え替えの促進、少花粉ヒノキの普及に取り組むとの回答をされました。

教育長からは、教員確保のための新規採用確保、定年引き上げに伴う勤務の意思を確認することを示され、さらに県立高校の入学選抜では極力定員内不合格を出さないこと、障がい等に配慮した措置を講じるとされ、また、魅力ある高校づくりのために地域との連携を進めるとの回答を得ました。

警察本部から、ストーカー事件の事態急変に備え、被害者やその親族等の安全確保を最優先として、より強力に推進していくとの発言を得ました。

緑友会

「政治は弱者のためにある」これが、我が緑友会福岡県議団の政治信条です。また、目指すのは福岡県の均衡ある発展と命の産業である農林水産業を守ることです。そして、悠久の歴史の中で営まれてきた山・里・海、この環境を守り、真に豊かな地方をつくることです。

このことを冒頭、服部誠太郎知事に申し上げ、新年度予算編成の考え方を中心に知事の政治姿勢を質しました。

「人材の育成」については、一十億円を超える予算を計上し、人への投資を重視する旨の答弁がありました。また、「県内GDP二十兆円への挑戦」については、官民が力を合わせ県内GDP二十兆円を達成したいとの決意が示されました。「出産・子育て安心基金」については、県独自の出産・子育て施策を機動的に実施する財源とする旨の答弁がありました。

次に、これまでにない厳しい状況が続く今期の有明海ノリ養殖について取り上げました。生産者の声を関係部に伝えたと、当面の資金繰りの問題は、漁連や関係機関との連携で共済金の早期支払いや償還金の支払猶予など速やかな対応をしていただきました。

しかし、大きな課題は、今後の生産の安定であり、その対策を質しました。知事からは、不作の原因究明、二枚貝の増産計画および海況情報の新たな発信システムの導入が示されました。

その他、定年引き上げにかかる諸課題、救急車の適正利用と搬送困難事案への対応、観光振興対策などについて質しました。また、暴力団撲滅については、現状と今後の対策・決意を警察本部長に質しました。

公明党

奈良県大和郡山形市にある近鉄線の踏切で4月、白杖を持った全員の女性が特急にはねられて死亡した事故がありました。踏切内に視覚障がい者誘導用ブロックがなく、女性は遮断機の外側にいると思込んで立っていたと見られている痛ましい事故でした。視覚障がい者誘導用ブロックが設置されていれば事故は回避出来たのではないかと。その思いで服部誠太郎知事に、安全・安心の社会づくりの観点から、踏切内の安全対策について伺いました。

知事は、県内に道路と交差する踏切は1321カ所あるが、踏切内に視覚障がい者誘導用ブロックを設置している箇所はないこと、この誘導用ブロックの踏切内設置については、奈良県の事故を受けて、現在、国で全国統一の整備方針と構造基準が検討されていること、そのため、県としては、この整備方針や構造基準に基づき、整備が必要な踏切について速やかに対策を講じていく、と答弁しました。

また、道路管理者、鉄道事業者等で構成する「福岡県踏切道改良協議会」において、踏切内の段差解消や踏切障害物検知装置の設置といった踏切内安全対策について協議していきたいと考えているとも述べました。

農福連携促進のためのコーディネートについては、知事は、県では、就労支援等で農業に取り組み障がい者施設の施設長や職業指導員を「農福連携推進員」として県内4地域に各1名を配置し、今後も農福連携推進委員の活用により、農業の働き手と障がいのある方の働く機会の確保に向け、出来るだけ多くのマッチングを達成していくと述べました。

(地域別)

令和5年2月末現在

所属委員会などの情報については、県議会ホームページをご覧ください。



 <p>中尾 正幸 (自民党県議団) 当選回数: 5</p>	<p>北九州市若松区</p>	 <p>吉村 悠 (自民党県議団) 当選回数: 3</p>	 <p>高瀬菜穂子 (日本共産党) 当選回数: 4</p>	 <p>二宮 眞盛 (公明党) 当選回数: 6</p>	<p>北九州市小倉南区</p>	 <p>壹岐 和郎 (公明党) 当選回数: 4</p>	 <p>原田 博史 (民主県政県議団) 当選回数: 4</p>	 <p>中村 明彦 (自民党県議団) 当選回数: 10</p>	<p>北九州市小倉北区</p>	 <p>北九州地域</p>	
 <p>岩元 一儀 (民主県政県議団) 当選回数: 5</p>	 <p>松尾 統章 (自民党県議団) 当選回数: 6</p>	 <p>縣 善彦 (自民党県議団) 当選回数: 6</p>	<p>北九州市八幡西区</p>	 <p>津田 公治 (自民党県議団) 当選回数: 3</p>	<p>北九州市八幡東区</p>	 <p>川端 耕一 (自民党県議団) 当選回数: 3</p>	 <p>森下 博司 (公明党) 当選回数: 7</p>	<p>北九州市門司区</p>	 <p>山本 耕一 (民主県政県議団) 当選回数: 1</p>		
 <p>畑中 茂広 (民主県政県議団) 当選回数: 4</p>	<p>京都郡</p>	 <p>安部 弘彦 (緑友会) 当選回数: 1</p>	 <p>松本 國寛 (自民党県議団) 当選回数: 6</p>	<p>遠賀郡</p>	 <p>片岡 誠二 (自民党県議団) 当選回数: 2</p>	<p>中間市</p>	 <p>堀 大助 (緑友会) 当選回数: 3</p>	<p>行橋市</p>	 <p>富田 徳二 (民主県政県議団) 当選回数: 7</p>	<p>北九州市戸畑区</p>	 <p>松下 正治 (公明党) 当選回数: 3</p>
 <p>立川 由美 (日本共産党) 当選回数: 1</p>	 <p>大塚 勝利 (公明党) 当選回数: 4</p>	 <p>佐々木 徹 (民主県政県議団) 当選回数: 5</p>	 <p>長 裕海 (自民党県議団) 当選回数: 6</p>	 <p>今林 久 (自民党県議団) 当選回数: 7</p>	<p>福岡市東区</p>	 <p>福岡地域</p>	 <p>西元 健 (自民党県議団) 当選回数: 3</p>	<p>築上郡・豊前市</p>			
 <p>樋口 明 (自民党県議団) 当選回数: 5</p>	 <p>浜崎 達也 (公明党) 当選回数: 6</p>	 <p>加地 邦雄 (自民党県議団) 当選回数: 6</p>	<p>福岡市南区</p>	 <p>笠 和彦 (自民党県議団) 当選回数: 1</p>	 <p>岳 康宏 (拓志会) 当選回数: 2</p>	 <p>原中 誠志 (民主県政県議団) 当選回数: 3</p>	<p>福岡市中央区</p>	 <p>井上 博行 (自民党県議団) 当選回数: 2</p>	 <p>高橋 雅成 (公明党) 当選回数: 5</p>	<p>福岡市博多区</p>	
 <p>田中 大士 (緑友会) 当選回数: 1</p>	 <p>仁戸田元氣 (民主県政県議団) 当選回数: 3</p>	 <p>野原 隆士 (自民党県議団) 当選回数: 3</p>	<p>福岡市西区</p>	 <p>後藤 香織 (民主県政県議団) 当選回数: 1</p>	 <p>新開 昌彦 (公明党) 当選回数: 6</p>	 <p>古川 忠 (真政会) 当選回数: 7</p>	<p>福岡市早良区</p>	 <p>守谷 正人 (民主県政県議団) 当選回数: 4</p>	 <p>武藤 英治 (自民党進志会) 当選回数: 10</p>	<p>福岡市城南区</p>	

福岡県議会議員

太宰府市		井上 正文 (自民党県議団) 当選回数: 1	宗像市		吉武 邦彦 (緑友会) 当選回数: 3	大野城市		井上 博隆 (民主県政県議団) 当選回数: 3	春日市		井上 順吾 (自民党県議団) 当選回数: 5	筑紫野市		松尾 嘉三 (自民党県議団) 当選回数: 3	筑紫野市		中牟田伸二 (自民党県議団) 当選回数: 3	筑紫野市		原竹 岩海 (民主県政県議団) 当選回数: 5
------	---	------------------------------	-----	---	---------------------------	------	---	-------------------------------	-----	--	------------------------------	------	---	------------------------------	------	---	------------------------------	------	---	-------------------------------

那珂川市		渡辺 勝将 (自民党県議団) 当選回数: 2	糸島市		浦 伊三夫 (自民党県議団) 当選回数: 2	朝倉市・朝倉郡		川崎 俊丸 (民主県政県議団) 当選回数: 4	福津市		中嶋 玲子 (民主県政県議団) 当選回数: 1	古賀市		吉田 浩一 (自民党県議団) 当選回数: 1	古賀市		吉田健一郎 (自民党県議団) 当選回数: 1	古賀市		渡辺 美穂 (民主県政県議団) 当選回数: 2
------	--	------------------------------	-----	--	------------------------------	---------	--	-------------------------------	-----	---	-------------------------------	-----	--	------------------------------	-----	--	------------------------------	-----	--	-------------------------------

久留米市		新井富美子 (民主県政県議団) 当選回数: 1	久留米市		江口 善明 (緑友会) 当選回数: 3	筑後地域		原口 剣生 (自民党県議団) 当選回数: 6	糟屋郡		富永 芳行 (民主県政県議団) 当選回数: 1	糟屋郡		西尾 耕治 (公明党) 当選回数: 2	糟屋郡		吉松 源昭 (自民党県議団) 当選回数: 5
------	---	-------------------------------	------	---	---------------------------	------	---	------------------------------	-----	---	-------------------------------	-----	---	---------------------------	-----	---	------------------------------

筑後市		藏内 勇夫 (自民党県議団) 当選回数: 9	八女市・八女郡		栗原 悠次 (緑友会) 当選回数: 1	柳川市		桐明 和久 (自民党県議団) 当選回数: 3	柳川市		榎島 徳博 (緑友会) 当選回数: 3	大牟田市		永川 俊彦 (緑友会) 当選回数: 1	大牟田市		大橋 克己 (民主県政県議団) 当選回数: 3	大牟田市		中村 香月 (民主県政県議団) 当選回数: 1
-----	---	------------------------------	---------	---	---------------------------	-----	---	------------------------------	-----	--	---------------------------	------	---	---------------------------	------	---	-------------------------------	------	---	-------------------------------

飯塚市・嘉穂郡		香原 勝司 (自民党県議団) 当選回数: 3	筑豊地域	直方市	板橋 聡 (自民党県議団) 当選回数: 3	みやま市	小河 誠嗣 (緑友会) 当選回数: 2	うきは市	井上 忠敏 (緑友会) 当選回数: 6	小郡市・三井郡	秋田 章二 (自民党県議団) 当選回数: 4	大川市・三潴郡
---------	---	------------------------------	------	-----	-----------------------------	------	---------------------------	------	---------------------------	---------	------------------------------	---------

田川郡		神崎 聡 (緑友会) 当選回数: 3	嘉麻市		大島 道人 (自民党県議団) 当選回数: 3	宮若市・鞍手郡		江頭 祥一 (自民党県議団) 当選回数: 2	田川市		花田 尚彦 (自民党県議団) 当選回数: 1	田川市		佐々木 允 (民主県政県議団) 当選回数: 2	田川市		高橋 義彦 (自民党県議団) 当選回数: 1	田川市		江藤 秀之 (自民党県議団) 当選回数: 5
-----	---	--------------------------	-----	---	------------------------------	---------	---	------------------------------	-----	--	------------------------------	-----	---	-------------------------------	-----	---	------------------------------	-----	---	------------------------------

福岡県議会

…… 令和元年度 ……

★4月7日 福岡県議会議員選挙 県内45選挙区から87人の県議会議員が選出

○5月臨時会

- 第69代議長に栗原渉議員（自民党県議団）、第81代副議長に原中誠志議員（民主県政県議団）がそれぞれ選出

○6月定例会

- 平成29年7月九州北部豪雨災害及び平成30年7月豪雨災害の復興・復旧に係る予算などを含めた令和元年度当初予算を可決
- 「福岡県宿泊税条例」及び「福岡県宿泊税基金条例」を可決

◇7月及び8月 福岡、佐賀、長崎を中心に大雨災害が発生、被災地を視察

○9月定例会

- 「観光王国九州とともに輝く福岡県観光振興条例」を改正
- 令和元年7月及び8月大雨災害の復旧・復興に係る経費を含めた補正予算を可決

◇9月 ラグビーワールドカップ2019日本大会が開催

◇11月 第10回海外福岡県人会世界大会が福岡県で開催

○12月定例会

- 民生委員の活動費について、県独自の加算額引き上げの為の予算を含めた補正予算を可決
- ◇1月 国内で初となる新型コロナウイルス感染症の感染者を確認

○2月定例会

- 新型コロナウイルス感染症対策予算を含めた補正予算及び令和2年度当初予算を可決
- 「福岡県スポーツ推進条例」を可決、県スポーツ推進基金設置を決定
- ◇3月 JR日田彦山線復旧問題の解決に向け、東峰村現地視察及びJR九州との意見交換会等を実施



海外福岡県人会代表者による議会訪問



東峰村への被災地視察

…… 令和2年度 ……

○4月臨時会

- 新型コロナウイルス感染症対策予算を含めた補正予算を可決

○6月定例会

- 第70代議長に吉松源昭議員（自民党県議団）、第82代副議長に江藤秀之議員（自民党県議団）がそれぞれ選出
- 新型コロナウイルス感染症対策予算を含めた補正予算を可決
- 「福岡県飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例」を改正
- 福岡県日田彦山線沿線地域振興基金設置を決定

◇7月 令和2年7月豪雨発生、被災地を視察

○9月定例会

- 新型コロナウイルス感染症対応、令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策等に関する予算を含めた補正予算を可決
- 洋上風力発電促進福岡県議会議員連盟を設立

○12月定例会

- 新型コロナウイルス感染症対策、高病原性鳥インフルエンザ対策に関する予算を含めた補正予算を可決
- 「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定

○1月臨時会

- 新型コロナウイルス感染症対策予算を含めた補正予算を可決

○2月定例会

- 新型コロナウイルス感染症対策予算を含めた補正予算及び令和3年度当初予算を可決
- ◇2月 日田彦山線沿線地域振興計画が策定



令和2年7月豪雨の被災地視察



日田彦山線沿線地域振興基本構想図

4年間の主な軌跡

…… 令和3年度 ……

★4月11日 福岡県知事選挙 服部誠太郎知事就任

○4月臨時会

- ・新型コロナウイルス感染症対策予算を含めた補正予算を可決

○5月臨時会

- ・新型コロナウイルス感染症対策予算を含めた補正予算を可決

○6月定例会

- ・第71代議長に秋田章二議員（自民党県議団）、第83代副議長に十中大雅議員（自民党県議団）がそれぞれ選出
- ・新型コロナウイルス感染症対策予算を含めた補正予算を可決

◇8月 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催
本県ゆかりのメダリストの方々が県議会を訪問

◇8月 大雨による災害が発生、被災地を視察

○9月定例会

- ・新型コロナウイルス感染症対策及び8月の大雨災害の復旧・復興対策等に必要経費を含めた補正予算を可決

◇9月 福岡県ワンヘルス推進協議会が設立

◇10月 2021世界体操・新体操選手権北九州大会が開催

○12月定例会

- ・第84代副議長に仁戸田元氣議員（民主県政県議団）が選出
- ・新型コロナウイルス感染症対策予算を含めた補正予算を可決

○2月定例会

- ・新型コロナウイルス感染症対策予算を含めた補正予算及び令和4年度当初予算を可決
- ・「ロシア軍のウクライナ侵攻に強く抗議し、恒久平和を求める決議」を可決
- ・県議会を代表して、秋田議長が知事に対してウクライナ避難民の方の受け入れを要請



金メダリスト 素根輝選手による議会訪問



ウクライナの皆様による議会訪問

…… 令和4年度 ……

※令和4年12月末現在

◇4月 旦過市場（北九州市）で大規模な火災が発生、被害状況視察

○6月定例会

- ・第72代議長に桐明和久議員（自民党県議団）が選出
- ・原油価格・物価高騰等総合緊急対策に係る予算を含めた補正予算を可決
- ・「福岡県における議会関係ハラスメントを根絶するための条例」を制定

○9月定例会

- ・第85代副議長に井上博隆議員（民主県政県議団）が選出
- ・原油価格・物価高騰等総合緊急対策に係る予算を含めた補正予算を可決
- ・「環境と人と動物のより良い関係づくり等福岡県におけるワンヘルスの実践促進に関する条例」を制定
- ・議員定数及び選挙区の改正 ※8面参照

◇11月 アジアからのワンヘルスアプローチをテーマに「アジア獣医師会連合（FAVA）大会」が福岡市内で開催

- ・「アジアワンヘルス福岡宣言 2022」が桐明和久議長と服部誠太郎知事立ち合いのもとで調印
- ・「FAVAワンヘルス福岡オフィス」がアクロス福岡（福岡市）に開設されることが決定

◇11月 県議会議員を対象とした福岡県議会ハラスメント防止研修会を実施

○12月定例会

- ・地域経済の活性化と成長・発展に係る予算を含めた補正予算を可決

◇12月 福岡県などの主催で「福岡国際マラソン2022」を開催



旦過市場の火災による被害状況視察



アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会

トピックス

日田彦山線沿線地域振興推進協議会

2月9日、令和4年度福岡県日田彦山線沿線地域振興推進協議会が福岡市内で開催され、桐明和久議長、九州の自立を考える会会長の藏内勇夫議員、日田彦山線復旧問題対策協議会 座長の松本國寛議員をはじめ、地元選出議員らが出席しました。

桐明議長は、「令和3年2月には、『福岡県日田彦山線沿線地域振興計画』が策定され、現在、この振興計画のもと、沿線の地域振興につながる様々な取り組みが進められているところであります。県議会といたしましても、県執行部と一体となり、しっかりと日田彦山線沿線地域の振興に取り組んでまいります」と挨拶しました。



ベトナム総領事 県議会表敬

2月13日、ヴェーチ・マイ在福岡ベトナム総領事が着任の挨拶のため県議会を訪問され、桐明和久議長、井上博隆副議長をはじめ、福岡県ベトナム友好議員連盟(会長：松尾統章議員)の役員がお迎えしました。



桐明議長は総領事着任の祝意を述べるとともに、「今年は、日越外交関係樹立50周年、ハノイ市と福岡県の友好提携締結15周年の節目を迎えました。県議会といたしましても、これまで以上に両国の友好交流に力を注いでいきたいと思っております」と挨拶しました。

駐日韓国大使 県議会表敬

2月20日、尹徳敏(ユン・ドクミン)駐日本大韓民国大使が県議会を訪問され、桐明和久議長、井上博隆副議長をはじめ、福岡県日韓友好議員連盟(会長：原口剣生議員)の役員がお迎えしました。



桐明議長は、「本県議会と慶尚南道議会は、2012年に友好交流協定を締結しました。県議会といたしましても、日韓両国の相互理解と友好親善の増進に力を注いでまいります。尹大使におかれましても、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます」と挨拶しました。

福岡県議会議員の選挙区と選挙区定数が変わっています。

※詳しくは県議会ホームページをご参照下さい



新型コロナウイルス感染症ポータルページのご案内

新型コロナウイルス感染症関連の最新情報につきましては、県ホームページ「新型コロナウイルス感染症ポータルページ」をご覧ください。
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>



選挙区の合区

「うきは市選挙区」と「久留米市選挙区」が合区して、新たに、「久留米市・うきは市選挙区」となります。
 これにより、選挙区数が45選挙区から44選挙区となります。
 ※議員の総定数は変わらず、87人のままです。

選挙区定数の変更

- ・「北九州市八幡西区選挙区」の定数が4人から3人へ1人減
- ・「久留米市・うきは市選挙区」の定数が6人から5人へ1人減
- ・「小郡市・三井郡選挙区」の定数が1人から2人へ1人増
- ・「太宰府市選挙区」の定数が1人から2人へ1人増

議会事務局の組織と問い合わせ先

総務課

■ 議会の庶務、経理 ■ 本会議傍聴
 ■ 議会棟見学 など
 TEL 092-643-3823
 FAX 092-643-3825
 E-mail gsomu@pref.fukuoka.lg.jp

議事課

■ 本会議、委員会などの運営
 ■ 請願、陳情 ■ 会議録作成 など
 TEL 092-643-3827
 FAX 092-643-3825
 E-mail ggiji@pref.fukuoka.lg.jp

調査課

■ 議案、行政施策、法令等の調査
 ■ 議会の広報 ■ 議長会議 など
 TEL 092-643-3832
 FAX 092-643-3825
 E-mail gchosa2@pref.fukuoka.lg.jp

政策企画支援室

■ 議員提出条例の制定・改廃
 ■ 政策提言に係る企画支援 など
 TEL 092-643-3806
 FAX 092-643-3825
 E-mail gchosa2@pref.fukuoka.lg.jp

※「ふくおか県議会だより」は新聞折り込みでお届けするほか、県の総合庁舎や各地区の県民情報コーナー、県立美術館、県立図書館、クローバープラザ、市町村の窓口、県内ローソン各店舗などにも置いています。

※「ふくおか県議会だより」は点字版およびテジー版(音声版)CDも発行しています。ご希望の方は、県議会事務局調査課へご連絡ください。

※次号(第48号)の発行は、令和5年6月下旬を予定しています。

編集後記

委員長
香原 勝司
(自民党県議団)



副委員長
原田 博史
(民主県政県議団)



委員
板橋 聡
(自民党県議団)



委員
山本 耕一
(民主県政県議団)



委員
堀 大助
(緑友会)



委員
壹岐 和郎
(公明党)



今の県政の課題は何か、県民の皆様の負託とご期待にこたえるため、県議会でどのような議論が行われているかなどを、この「ふくおか県議会だより」を通して、わかりやすくお伝えできたら、との思いで取り組んできました。
 現在の編集委員メンバーによる企画・編集は今号で最後になりますが、これから開かれた県議会をめざし、県民の皆さまにより一層、県政に関心を持っていただけるよう努めてまいりますので、今後とも皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

編集・発行 福岡県議会 電話 092-643-3832(調査課)